

プログラム

プログラムは予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。

時間	内容
13:30 - 13:40 (10分)	開会のご挨拶 富士通株式会社 プロセス産業第二統括営業部長 村田 知宣
13:40 - 14:30 (50分)	【特別講演】 デジタル人材確保に向けた大学の取組み 滋賀大学は、2017年日本初のデータサイエンス学部を創設。データ革命時代を担うデータサイエンティストの育成に高等教育機関として初めて正面から取り組んでいます。本格的なデータサイエンス（DS）教育プログラムの展開には、実際のデータを保有する企業等との幅広い連携が不可欠であり、基礎理論と共に実データを利用したPBL演習（Project-based learning）などを通じた実践的な教育を進めています。第1期生は現在3回生ですが、2回生から企業での中期のインターンシップを行い学生・企業側から高い評価を得ています。 一方、Society5.0の実現を目指し極めて旺盛な企業のDSニーズに応えるべく、数多くのDS社会実装のための共同研究・受託研究を進めるとともに、企業内人材のDS力高度化のため支援なども行っており、現在本学のDS教育研究は100社以上の企業に支えられています。 また、企業内人材の高度化ニーズに幅広く応えるため、本年DS学部完成を待たずに「大学院データサイエンス研究科」（修士課程）を開設、様々な業種の企業等から中堅職員・技術者を数多く受け入れています。更に2020年4月に同研究科「博士後期課程」も開設し、業界を代表するようなトップタレントのデータサイエンティストの養成に取り組めます。 滋賀大学は、我が国のデータ革命を牽引すべく、データサイエンスの教育研究と企業の皆さまとの連携を通じ、夢のある活力に満ちた日本と世界の実現に貢献してまいります。 国立大学法人 滋賀大学 理事・副学長 須江 雅彦氏
14:30 - 15:20 (50分)	【基調講演】 今後枯渇するデジタル人材への対応 業種を問わず今後枯渇すると考えられるデジタル人材確保に向け、サービスビジネスやソリューション提供に取り組むと同時に、人材育成や人材活用に注力しており、国内の企業がDX（Digital Transformation）に大きく舵を切る中で、ヒントになる情報提供致します。 富士通株式会社 エンタープライズビジネスグループ シニアフェロー 宮田 一雄
15:20 - 15:40 (20分)	休憩
15:40 - 17:30 (110分)	パネルディスカッション 基調講演の宮田シニアフェローが、パネリスト兼ファシリテーターとなり、医薬品業界及びアカデミア、そして富士通関係者で今後枯渇してくると考えられるデジタル人材に対してどのように取り組んでゆけばかといったテーマで討議を実施します。パネリストには以下の方々にご参加頂く予定です。 アカデミア 国立大学法人滋賀大学 理事・副学長 須江 雅彦 氏 医薬品メーカー 田辺三菱製薬 執行役員 清水 良 氏 医薬品業界誌 月刊ミクス社・社長/編集長 沼田 佳之 氏 富士通 医薬品業界担当SE 事業部長 須藤ますみ
17:40 - 19:00 (80分)	ネットワーキングレセプション

お問い合わせ

富士通株式会社

第二産業ビジネス本部 プロセス産業第二統括営業部
〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2
E-mail: contact-life-forum@cs.jp.fujitsu.com

お申し込みサイト

以下のお申込用Webに掲載の【個人情報の取り扱いについて】にご同意の上、お申し込み手続きを行ってください。



<https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/9008>

医薬品メーカーに関係する方々にむけた



富士通ライフサイエンスフォーラム 2019

『今後枯渇すると考えられるデジタル人材確保にどう取り組むか』

拝啓

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。この度弊社では、2019年11月22日(金)に「富士通ライフサイエンスフォーラム2019」を開催致します。今回の特別講演では、現在滋賀大学の副学長を務められている須江雅彦氏に、アカデミアにおけるデジタル人材育成プログラムや企業連携のご紹介を頂きます。そして基調講演では、当社のシニアフェローである宮田一雄から富士通の取り組み内容を事例を含めご紹介致します。

また、前述講演者の他に、医薬品メーカーの役員、業界紙の編集長、当社SEを交えてパネルディスカッションも予定しております。特に日本の医薬品メーカーが、業界として取り組むべき方向性を導く材料として頂けるよう、プログラム致しました。その他、本フォーラムでは、ご参加頂いた方々全員の交流の場としてネットワーキングレセプションをご用意しております。パネリストの他、各企業様間の交流の機会としてもご活用頂きたいと願っております。

つきましては、ご多用の折とは存じますが、万障お繰り合わせの上、是非ともご来場賜りますようお願い申し上げます。
敬具

日時：2019年11月22日(金) 13:30～19:00 (受付開始 13:00)
会場：ベルサール神田 2階 受付
〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町7
定員：200名

地図



JR線 JR 神田駅 北口 徒歩6分

地下鉄 都営新宿線 小川町駅 B6出口 徒歩2分、
東京メトロ 丸の内線 淡路町駅 A6出口 徒歩2分、
東京メトロ 各線 大手町駅 C1出口 徒歩8分

東京メトロ 千代田線 新御茶ノ水駅 B6出口 徒歩2分
東京メトロ 銀座線 神田駅 4番出口 徒歩6分

講演者とパネリストのご紹介

特別講演 講演者



国立大学法人滋賀大学 理事・副学長・附属図書館長 須江 雅彦 氏

総務省統計局長在任中 統計オープンデータ戦略に取組み、高度利用環境を構築。スマホで身近な統計を見れる「アプリDe統計」をプロデュース。HPで「データサイエンス・スクール」を、更に政府初のMOOC「社会人のためにデータサイエンス入門」等を開講。
滋賀大学では、日本初のデータサイエンス学部/大学院データサイエンス研究科の創設、国内最高水準のデータサイエンス教育研究拠点形成とDSの社会実装/高度化推進のため幅広い企業等との連携協力を推進中。

<職歴情報>
1979年 中央大学卒業、総理府に入府、内閣官房、労働省、通産省、総理官邸報道室長、内閣広報室・内閣府の参事官、官房人事課長等を経て
2006年 日本学術会議事務局次長/イノベーション25担当大臣特命室次長
2007年 総務省・財務省の官房審議官
2012年 総務省統計局長
2014年 総務省官房統計情報戦略推進官
2016年 国立大学法人滋賀大学理事・副学長・附属図書館長

基調講演 講演者



富士通株式会社 シニアフェロー エンタープライズビジネスグループ 宮田 一雄

国内で、コンピューターが本格的に利用される時代からシステムエンジニアとして活動してきた人材。地域、業種問わず、銀行、証券、通信キャリア等で、大規模SIのPM等、長年経験してきた。現在では、富士通のデジタルビジネス立ち上げで人材の育成や、従来のSE人材の変革に取り組んでいる。

<職歴情報>
1977年 富士通入社
2013年 株式会社富士通ミッションクリティカルシステムズ 代表取締役社長
2015年 株式会社富士通システムズ・ウエスト 代表取締役社長
2017年 富士通株式会社 執行役員常務 デジタルフロント組織立ち上げ
2019年 " Mobilityビジネス担当

パネリスト

パネリストは予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。



田辺三菱製薬株式会社 執行役員 チーフ・デジタル・オフィサー デジタルトランスフォーメーション部長 清水 良 氏

京都大学大学院農学研究科博士課程を1989年修了、田辺製薬に入社。研究所で当時始まったコンピュータシミュレーションの創薬応用を担当。その後、タンパク質の結晶構造解析、スクリーニングのロボット化やバイオインフォマティクス研究の立ち上げなどを主導した。2007年の三菱ウェルファーマとの合併、田辺三菱製薬の発足とともに経営企画部へ異動、中期経営計画の策定を担当。2011年情報システム部長、2014年経営企画部長。2015年経営企画部内に新技術・新規ビジネスを企画する未来創造室を設置し、それが2017年に分離してフューチャーデザイン部となった際に同部部長、2018年執行役員、2019年にデジタルトランスフォーメーション部に改称、現在に至る。

<職歴情報>
1989年 田辺製薬入社
2011年 情報システム部長
2014年 経営企画部長
2016年 理事 経営企画部長
2017年 理事 フューチャーデザイン部長 兼 ICTマネジメント部長
2018年 執行役員 フューチャーデザイン部長
2019年 執行役員 デジタルトランスフォーメーション部長



株式会社ミクス 代表取締役社長 沼田 佳之 氏 (Monthly ミクス編集長)

医薬品業界誌として経営者向けに発行されるMonthly ミクスは、専門誌の中で堅調な発行部数を誇る。購読者にはMRも多く、編集長として一躍有名な存在であり、業界関係者であれば、誰でも知っている存在。
現在では独立し、代表を務める。特に医薬品メーカーを中心に行政機関にも多くの人脈を持ち、Monthlyミクスの発行以外にも、年間多数の講演会やイベントをこなしている。

<職歴情報>
1987年 北里大学卒業
1987年 外資系製薬企業に入社
営業本部で医薬情報担当者 (MR) として活動
1992年 製薬業界向け日刊紙の記者として活動開始
厚生労働省、製薬業界、医学・医療界の取材に従事。キャップ、デスク、編集長として活動
2008年 エルゼビア・ジャパン株式会社に移籍 Monthly ミクスの編集長に就任
2017年 株式会社ミクスとして独立 社長就任



富士通株式会社 第一産業システム事業本部 第四システム事業部 事業部長 須藤 ますみ

富士通で医薬品業界のお客担当SEとして活動。当社がNoteBookPCを市場に提供した頃から「MR支援システム」(MS-DOS)などを構築するなど医薬品業界の発展に向けて取組む。長年の経験を活かし、医薬品業界向けシステムの構築、ヘルプデスク運営、運用保守、業務アウトソーシングサービスなど、幅広く対応。現在は、医薬品業界からヘルスケア領域までDXやAI技術の活用、医療医薬連携の取組みやCo-creation創出などの活動を行う。

<職歴情報>
1988年 富士通(株)入社
1989年 西日本の製薬企業様向けシステムインテグレートSE
営業系システムの開発、運用・保守、サービスに従事
2010年 業界で一早く実消化BPOサービスの立ち上げ
2014年 実消化クラウドサービスの提供
2016年 Life Intelligence Consortium (LINC) 富士通窓口
2017年 第一産業システム本部第四システム事業部事業部長
全国の製薬企業向けSIソリューション
LCMサービス製薬企業様向け共創ビジネスの企画開発を担務
2019年 医薬品業界におけるDX取組みの一環で医療医薬連携プロジェクトに参画